



甲子園短大通信

甲子園短期大学 発行

第一部の式典は、新成人の門出を全学挙げて祝福する式であると同時に、卒業を間近にひかえ、社会に飛

【第一部】



一月十三日、理事長・学院長久米知子先生のご臨席を賜り、学内成人式が執り行われました。学内成人式は本学独自の行事として、昭和五十四年から行われ、今年度で三十八回目を迎えます。

平成二十八年学内成人式

新成人としての門出を祝う

び立とうとするII回生が、自らの責任と義務を再確認する誓いの場でもあります。

II回生は、新成人の自覚を持ち、緊張と喜びの面持ちで式に参列しました。I回生は、成人となる先輩をお祝いするために参加し、式典は終始厳粛な雰囲気の中で執り行われました。

瀧上凱令学長から祝辞として、それぞれの夢に向かって歩み出すII回生に対し、「本学で身につけた校訓三綱領である『電勉努力』『和衷協同』『至誠一貫』を社会の中で実践しながら、自信を持って活躍されることを期待しています」と、学生の成長を願う温かい励ましの言葉が送られました。

それに応えて幼児教育保育学科の大槻美咲さんが、代表として誓いの言葉を述べました。

記念品として台付袱紗が全員に贈られ、幼児教育保育学科の森友紀子さんが代表して受け取りました。

【第二部】

第二部は、萩原暢子先生をお招きして「新成人の皆さんへくぐり命をばぐくむ」と題して、講演会を行



最後に、成人として社会に一步を踏み出す学生たちに、「授かった命

を大切に、自ら進むべき道を見つけ、与えられた人生を精一杯生きることが大切ですよ」と温かく力強いメッセージを頂戴しました。

萩原暢子先生は、大阪医科大学卒業後、同大学の附属病院で産婦人科の医師として臨床経験を積み、その後力ナダ・トロント大学小児研究所研究員、大阪医科大学第二生理学教室専任講師を経て、現在は京都ノートルダム女子大学教授として教育と研究に従事されています。

今回の講演では、産婦人科の医師としての臨床経験を交えながら、命と命が出会い、いくつもの奇跡が重なって、新しい生命が誕生すること、命は両親から授かったかけがえない尊いものであり、けつして自分ひとりのものではないことを教えていただきました。

そして、命は偶然の重なりにより突然失われることがあることを、ご自身の幼少の頃に琵琶湖で溺れかけた経験や、雪道で迷い、命を失うようになった体験を通じて話されました。

さらに、先生のご専門である骨粗しょう症の予防を例として、医療に頼るだけでなく、健康を主体的にばぐくむ姿勢について解説がありました。

いてのお話に真剣に耳を傾けていました。二日目は、まずホテル内で研修を行いました。「ホスピタリティとおもてなし」と題し、社会人としての基礎やサービストおもてなしの違いなどについて学び、挨拶やお辞儀は演習を交えて教わりました。研修の最後は、バルケエスパニーヤでバリアフリーやホスピタリティの観点からパーク内を散策し、アトラクションやショーを楽しみました。目前に控えた就職活動や実習に結びつく実り多い研修になりました。

◆学友会役員決まる◆

平成二十九年一月六日に開催された学友会総会において、平成二十九年度の学友会役員が、次のように承認されました。

- 会長 神野 マミ 幼児教育保育学科
- 副会長 坂上明日香 生活環境学科
- 副会長 梁間 恵理 生活環境学科
- 総務 町田 楓 生活環境学科
- 総務 塩見 夏未 幼児教育保育学科
- 書記 石田いづみ 幼児教育保育学科
- 会計 山本かりん 生活環境学科

甲子園短大通信 第82号
編集・発行 甲子園短期大学広報委員会
〒663-8107 西宮市林町四一五
TEL:079-865-1100 FAX:079-867-9101
http://www.koshien-c.ac.jp



学内成人式に出席して

学生代表 大槻 美咲

成人式の第一部では、瀧上学長先生から心強い励ましのお言葉をいただき、希望で胸がいっぱいになりました。

その後、成人となった学生代表として「誓いの言葉」を述べさせていただきました。これからは大人の女性として、社会に貢献できるよう日々精進してまいります。

第二部では、京都ノートルダム女子大学教授萩原暢子先生が、尊い命をばぐくむ大切さをお話ししてくださいました。私たちがこうして生まれてきて成人を迎えることが出来たのも、両親をはじめ、先生方や見守り支えてくださった多くの方々のお蔭だと再認識しました。お話を聞きし、改めて感謝の気持ちを持ちました。成人となった私たちのために、このような盛大な場を与えていただき、心から感謝しております。

引越しが好きです



特任教授 坂本 正子

わたしはこれまでに二十回引越しをしました。日本人はあまり引越しをしないそうなので、よく驚かれます。

子どもの頃は親の転勤で、学生時代は下宿をよく変わり、大人になってからは家を探すことが趣味のようになって、というのが理由です。住居は、官舎、下宿、アパート、マンション、一軒家といういろいろです。

子ども時代の引越しは辛いものでした。ようやく馴染んだ街を離れ、友だちとも会えなくなり、新しい土地では、気候や言葉、違う教科書に慣れていかなければなりません。出会いと別れ、適応の繰り返しだったと思います。

しかし、いろいろな土地で暮らしたことは、「縁」の種をたくさんもたらしたこと、大人になってから気づきました。

進学のためにやむを得ず下宿をすることになった時も、心細かったことを今も覚えています。ところが、最初の下宿で一緒に住った友人ふたりとすぐに仲良くなり、よりいい条件の下宿を探して三人で何度も引越しをすることにになりました。シェアハウスのような住まい方になり、部屋を交換したり、翌朝までお喋りをしたり、楽しく自由気ままな青春時代でした。

この経験から、引越しが苦痛なものから楽しいことになっていったのか

My Favorites



5番目のふるさと
で住んだことのないくつかの街で、しばらく滞在生活することを夢みています。ジブシー傾向はまだまだ衰えそうにありません。

写真、母校のシンボルとなっている旧校舎と茶道部員として練習に励んだ茶室です。反対側には、「蛭雪時代」とともに月日を過ごした家がありました。旅行した際に撮ったお気に入りの一枚です。

後に、甲子園大学で偶然にもこの母校のふたりの先輩教員と出会い、一緒に仕事をさせていただきました。昼休みに、懐かしいふるさとの話をすることができました。この不思議な「縁」もわたしの大切な宝物です。

学外へ飛び出し研修してきました

I回生フィールドワーク研修履修者は、二月二十七日から一泊二日の行程で、伊勢志摩へ出かけました。

一日目は、短大を出発して一路伊勢へ向かいました。伊勢神宮に感謝の気持ちで参拝したのち、おかげ横丁を自由に散策しました。ご当地グルメの赤福餅や伊勢うどんを堪能し、歴史あふれる街の空気に触れました。その後、鳥羽水族館で飼育員から水族館の社会的役割や伊勢湾に多く生きている生物などについてお聞きし、学生たちは熱心にメモを取っていました。



ホテル志摩スペイン村に到着してから、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター講師による「伊勢志摩のバリアフリー観光」と「テンプルマナー講習」を受けました。バリアフリー観光についての講習では、障がい者が行ける場所を探すのではなく、行きたいところを開拓していく取り組みや、スペイン村内のバリアフリーについて学びました。テンプルマナー講習は、初めは少し緊張して戸惑っていましたが、スペイン料理の美味しさに緊張がほぐれてきたようで、食事を楽しみながらマナーについて学びました。

短大・中高合同文化祭



本年度三回目となる学院中高との合同文化祭が十月十六日に行われまし...

午後からのステージ発表では、各クラスや有志による歌やダンス、ピアノ演奏など...

ガラス工芸の魅力展

平成二十八年十月二十九日から二週間にわたり、久米アートミュージアムで...



「短大書道展」開催

十一月二十九日から十二月四日まで「甲子園短期大学書道展」が西宮市立北口...



教育研究センター公開講座

第一回目は、十二月三日「心身の特徴と現代社会のミスマッチを理解するー生活習慣病とたたかうためにー」のテーマで...

図書館公開講座

八月二十七日に附属図書館公開講座「皇位継承と貴族・武士」が開催されました。

卒業研究発表会

一月三十一日、II回生卒業研究履修者による、発表会が行われました。



発表当日は、ケーススタディと学習成果の発表も行われまし...

「おせち料理を楽しむ会」開催

十二月二十二日、生活環境学科介護福祉専攻I回生が授業の一環で、日頃お世話...



おせち料理は、家族の幸せを願う縁起ものの料理で、食材ひとつひとつにおめでたい意味やいわれがあります。

グリーンアドバイザー一名合格

グリーンアドバイザーとは、植物の育て方についての正しい知識を持ち、園芸ガーデニングの魅力や楽しさを伝えることができる人に与えられる資格です。

一年間の学びを披露「おたのしみ会」

幼児教育保育学科では、一年間の学習を披露する場として、十二月二十日にI・II回生合同でおたのしみ会を開催しました。



おたのしみ会では、準備や企画、構成などをすべて学生が分担して行い、行事の実施方法について実践的に学びます。

キャリアアップ研修会

今年度もキャリアアップ研修会を二回実施しました。この研修会は、本学卒業生の福祉・介護施設および保育所・幼稚園などに勤める職員や潜在的有資格者などを対象に、兵庫県補助対象として実施しています。

二回目は、二月四日「福祉に役立つエイジレスフードー介護・保育現場におけるだしのうま味と香りの活用法」をテーマに、京料理なかむら店主中村元計氏(京都大学農学修士、日本料理アカデミー会員)が講演と実演を行いました。

